



# 8月のほけんだより

平成27年 第177号



## 耳や鼻の中の異物

外耳道異物（耳の中に異物が入ってしまった状態）のうち小児の割合は40～60%。また、鼻腔異物（鼻の中に異物が入ってしまった状態）の場合では95%が小児といわれています。

子どもの場合、異物が入っていることを伝えられなかったり、いたずらして自分で入れているため、本人は悪いことをしたと思っているので黙っていたりすることが多く、長い期間経過してしまい、耳掃除の時に気づいたり、耳鼻咽喉科を受診した際見つかることもよくあります。

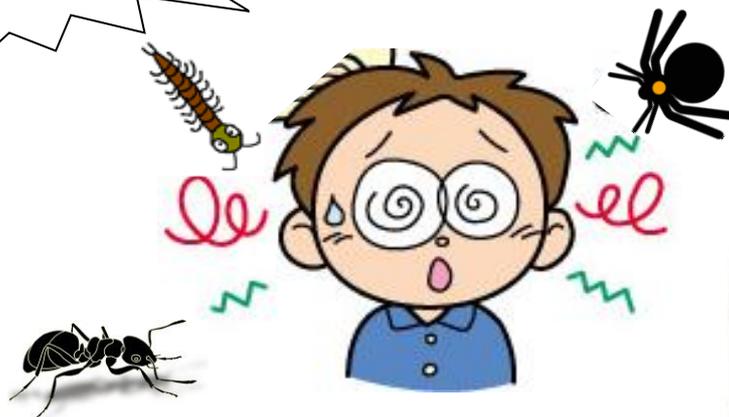
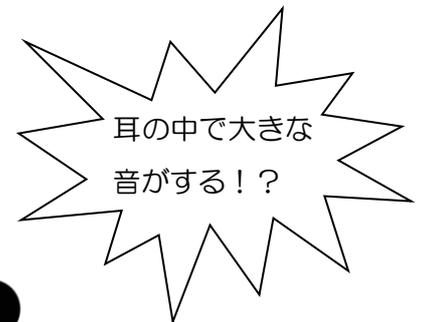
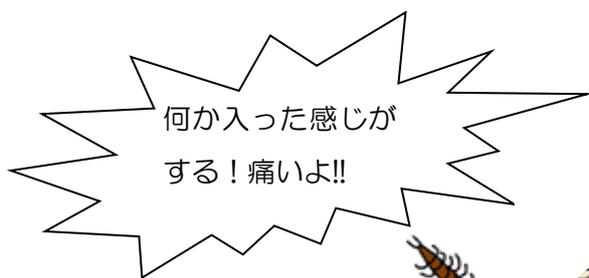
片方の鼻だけ詰まって、悪臭のある鼻水が出ている場合は、異物が長期間入っている可能性があります。

### 異物の種類



おもちゃの部品やビービー弾、ビーズ、ガラス玉、粘土、小石、パチンコの玉、豆類、綿、紙など様々です。

6歳以上になると、外耳道径（耳の穴の大きさ）が広がるので、カナブンやゴキブリ、ガ、アリなどの昆虫やクモ、ムカデが迷い込むことがあります。





## ボタン電池に要注意！！



異物で一番危険なのはボタン電池です。簡単に耳や鼻に入ってしまう大きさなので、子どもの近くには置かないよう普段から注意が必要です。

放っておくと耳や鼻の粘膜が壊死してしまうので、早く耳鼻咽喉科を受診する必要があります。



## 無理にとろうとするのは危険です。

鼻の異物も、耳の異物も、指でとろうとすると、かえって奥に入ってしまう、耳の場合は鼓膜を傷つけてしまうことがあります。鼻の場合はのどにつながっているため、奥に入ると気管に入ってしまう危険性があります。

鼻の中の異物はくしゃみをした拍子に、たまたま出てくることありますが、結論から言うと、医療機関を受診する前に対応できることはほとんどありません。



## 病院へ行くときには・・・

おもちゃはツルツル滑って取りにくい物が多いので、医療機関ではあらかじめ最も取りやすい器具を用意して除去します。

耳や鼻に入れた物と同じ物を持参すると、除去するための器具を選ぶときに役立ちます。



耳や鼻の形は複雑です。  
異物は無理に取り出そうとせず、  
耳鼻咽喉科へ行きましょう。



ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.cityv.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>